

＜過去1週間の動き＞

(12月11日～12月17日)

USD/RUB: 73.360～74.260 (注)

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、下落。15日には乱高下したものの、その他の局面は軟調気味の横ばいを支配的とした。この間、世界中の多くの中銀が金融政策を講ずる会合を開き、ロシアにおいても、17日のロシア中銀金融政策委員会が目立ったロシア要因には乏しかった。原油価格は、70ドル/バレル台前半(プレント)における軟調気味の動きを支配的とし、敢えてルーブルへの影響を読むとしたら、若干の重石になっていた程度に思われた。ロシア中銀は、市場の概ねが予想した通り、1週間物入札金利を100bp引き上げ8.50%としたが、予想通りの結果に、ルーブルの反応は鈍く、敢えて言うなら「期待で買って、事実で売る」軟調気味の値動きが続いた。15日の乱高下は、米連銀による資産購入策段階的撤廃(テーパリング)加速、同銀理事の見込む22年中の利上げペースが従来の+25bp.x2回からx3回に増加など、これまた予想通りながら、鷹派的な結果が要因。ルーブルが対ドルで急落したのは、一連の決定が発表される前までで、発表後は、程なく観察されたドル全面反落の一環で、ルーブルも急反発した。16日に英中銀が基準金利を15bp引き上げ0.25%としたのは予想外の展開と言えたが、続いて欧州中銀がパンデミック緊急購入策(PEPP)の来年3月終了などを確認したのは、予想通りの結果。PEPPで購入し、約定期限を迎えた債券の再投資の(23年末までから)24年末までの延長や、(通常の)資産購入策(APP)の規模を拡大(来年第2～第3四半期分)した点などは、敢えて予想外に鳩派的と受け止めることもできたが、いずれにせよルーブルへの影響は読み取れなかった。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/15	16:00	GDP(前年比)	Q3 P	+4.3%	+4.4%	+10.5%
12/17	10:30	1週間物入札金利		8.50%	8.50%	7.50%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう4週間の見通し＞

(12月18日～1月14日)

USD/RUB: 72.00～75.00

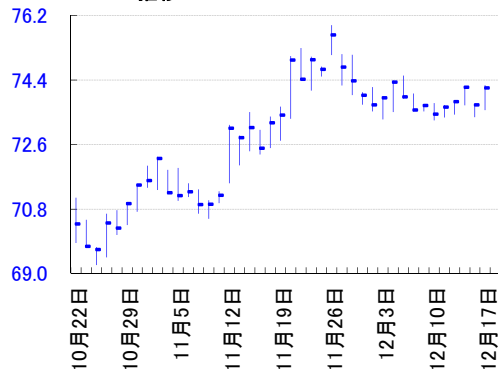
向こう4週間のロシア・ルーブル相場は、東ウクライナにおける軍事的衝突が回避されるとの前提で、底堅い値動きを予想。例年のことだが、市場の動意とボラティリティが低下するこの時期、投資適格級としては高利回りなルーブル建ロシア国債(OFZ)に対する「資金の停留先」需要が、ルーブルを持ち上げる傾向が読み取れる。17日のロシア中銀大幅利上げに前後して、9月から一貫して続いてきたOFZ下押しに、底打ちの兆しが読み取れなくもないことも、敢えてルーブルに強気になれる要因。今般の利上げで、ロシア中銀政策金利は、約1年ぶりに直近物価を上回ることになった。ナビウリナ総裁は、この日も追加利上げに前向きな発言を繰り返したが、同時に、「10月時点と比較すれば、利上げの必要性は低下している」という趣旨の発言もしていた。ベース効果を勘案すれば、少なくとも3月頃までは物価が頭打ちになる公算は高く、本音を言えば、ナビウリナ総裁も利上げは打ち止めにしたいのではないかなと思われる。勿論、今後のデータ(物価動向)次第ではあるものの、市場の過半が、物価の頭打ちを確信するようになれば、近い将来、OFZが反発上昇に転じる可能性も展望できるのではないかな。いずれにせよ、ルーブルの本格的な上昇には地政学的リスクの低減が必須と思われるが、残念ながら、東ウクライナにおける緊張が解消する可能性は、少なくとも目先、見込み難いと考えられる。

＜向こう4週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/22	16:00	鉱工業生産(前年比)	11月		+5.8%	+7.1%
12/29	16:00	GDP(前年比)	Q3 F		+4.3%	+10.5%
	16:00	失業率	11月		4.3%	4.3%
	16:00	小売売上高(前年比)	11月		+4.3%	+4.1%
	16:00	実質賃金(前年比)	10月		+1.3%	+2.0%
	16:00	CPI(前年比)	12月 P			+8.40%
12/30	13:00	経常収支(USD)	Q3 F			+40800mln
1/10-1/12		CPI(前年比)	12月 F		+8.40%	
1/10-1/14		国民福祉基金(USD)	12月			185.2bn
1/14	13:00	外貨準備高(USD)	12月			622.5bn

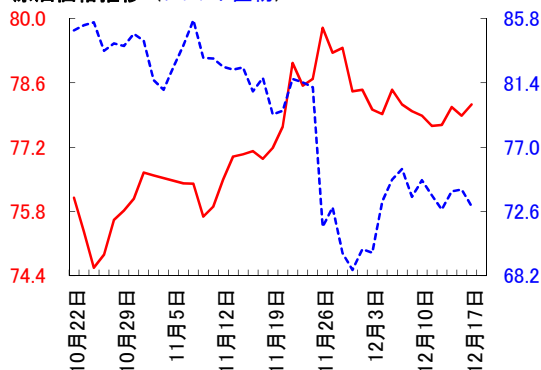
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)

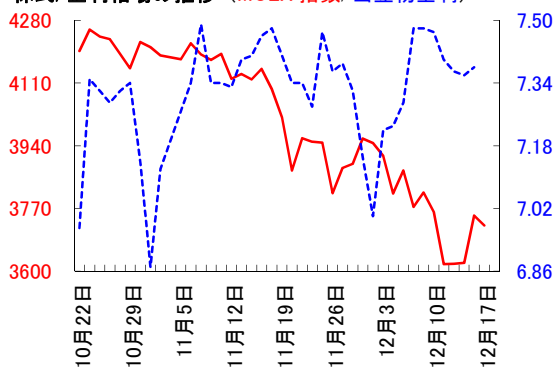


株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)

原油価格推移(プレント直物)



株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		8.50%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+4.3%
失業率	10月	4.3%
消費者物価(前年比)	11月	+8.40%
小売売上高(前年比)	10月	+4.1%
鉱工業生産(前年比)	10月	+7.1%
貿易収支(USD)	10月	+19.8bn

＜お知らせ＞

筆者休暇、及びロシア休日のため、「ロシア為替週報」次回発行は1月17日を予定しております。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくご諒承ください。今年1年大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

(注) 15日モスクワ市場引け後に一時74.355を記録

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。